

いよいよ今年も野球のシーズンがやってきました！しかも長崎県出身の大瀬良君がカーブに入団♪♪
ケガなくシーズンを過ごせるよう応援していきたいと思います。今年は優勝できるかな！？

定例会を兼ねた「長崎セミナー」がありました。「恋する気持ち」についての問題提起後、情報交換会があり、今回も皆さんからたくさんのお話を聞くことができました。

【恋する気持ち】 宮原先生と長崎大学保健学科4年生

- ・恋愛について、理論や科学的知識で教えることは難しい。科学的理論がない、価値観の問題、日本の文化の問題等があり、今後どのように伝えていくか検証が必要なテーマ。

＜からだ探検隊＞

1：人との関わり

パブリックとプライベートを身体の部位や場所、行動についてそれぞれ伝える。

2：サークルカリキュラム

人との距離の取り方や安全な距離、関係性ができるまでの期間について、色と関連付けて教える。

緑・・・一番安全な場所。家族や恋人、パートナーなど。手が届く距離で、手をつなぐ、キスやハグができる。

黄・・・ちょっと注意が必要。友だち、クラスの人。手はつなげるがハグはできない。

赤・・・危険。注意が必要。見知らぬ人。手は繋げない、届かない距離。

*サークルの大きさは、中心の緑が人と抱き合えるくらいの大きさを50cm程度。危険な「赤」は人と話す時に突然抱きつかれない距離。中心以外は、子どもの手の長さに合わせて作るとよい。

3：恋する気持ち

それがどのような気持ちか具体的に伝える。また、LOVEのマナーとして「10秒以上見つめない」「追いかけない」「大人に相談する」ことも伝える。

4：NO！を言えること

「NO」という方法、相手に「NO」と言われた時にどうするかについても具体的に教える。「合意に基づく関係」を教える。

5：ふれあいの段階 「ふれあいの7段階」

親子・友人とのふれあいと恋人以上のふれあいについてイラストで具体的に表し、段階や時間等も示す。「良いタッチ悪いタッチ」をロールプレイで説明する。

＜情報交換会＞

保護者の方や医療、福祉、行政等、様々な立場の方が約20名参加。自己紹介を兼ね、問題提起に関する感想や今困っていること、取り組んでいることについて話して下さいました。振り返りの学習の方法としてロールプレイをビデオに撮ったり、写真に吹き出しをつけてその時の気持ちをセリフとして書き込んでいく「コミック会話」の手法を使うこと等、具体的な内容を多く聞くことができました。

また、障がいをもつお子さんは性について自然に学ぶことは難しいため、性器や異性に興味を持ち始めたら先手をうって「パブリック」と「プライベート」、「やっていいこと」と「やってはいけないこと」を具体的に教えることが大切だそうです。

【講演会】 小学校での性教育の進め方 ～積極的に「発達段階に応じる」年間計画作りから～

・これまで取り組んでこられたことをお話だけではなく、絵本や授業で使った映像などの教材を紹介しながらお話して下さいましたので、とてもわかりやすく興味深く聞かせていただきました。この授業を受けた子どもたちは幸せだな～とも思いました。資料には指導案や板書例もあり、その豊富さに驚かされました。参考にさせていただきますね♪

＜お知らせ＞

次回の定例会は5月17日（土）の予定です。たくさんの方の参加をお待ちしています。

